



地域の健康を支える専門職としてお悩みをサポート。市民の皆様からの「ありがとう」がやりがいの源です。

保健師 水島保健推進室

羽場 麻依花 (はばまいか)

令和4年度入庁

倉敷市職員を志望した理由について教えてください。

大学生時代の4年間、倉敷市で暮らしたことで、住みやすさを実感し、ここで働き過ごしていきたいと思うようになりました。

もともと医療関係の仕事に興味を持っており、高校生の頃、職業調べをしていた中で、地域で暮らす方々の健康や生活を支える保健師という職業を知りました。そして、自分も人々の健康を守り、生活を支えられる保健師になりたいと思い、志すようになりました。



倉敷市で働くことの魅力をどう感じていますか。

研修会やOJTが充実しており、知識・技術を習得できる機会が多くあることです。

また、倉敷市は部署異動があるため、様々な業務を経験でき、たくさんの方との出会いがあります。その中で、刺激を受け、自身の成長につながると思うので、その点も魅力だと思っています。

担当業務とやりがいについて教えてください。

保健師は、それぞれ学区担当を受け持ち、地域の健康を支える専門職として、家庭訪問、育児相談、地域組織への健康教育、精神障がい者の方の相談対応など、乳幼児から高齢者まで幅広い年代の方々を対象として活動しています。市民の方と接する機会が多い仕事なので、「話を聞いてもらえてよかった、ありがとう」等と声をかけてもらえると、嬉しい気持ちになり、やりがいにもつながっています。



倉敷市職員を目指す皆さんにメッセージをお願いします。

入庁してすぐに、学区担当を任されることに不安を感じるかもしれません。私も不安に思うことがありましたが、分からないこと、困ることがあれば必ず先輩が助けてくださいます。悩みを打ち明けられる同期もできます。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。